

成田市議会だより

No.72

平成25年 9月定例会

2013.11.1発行



表紙写真募集

成田市議会だより(2月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが思う
成田らしい写真」

締切は1月15日(水)

詳細は12ページをご覧ください

みんなで広げよう 世界のきずな

10月6日に成田市国際市民フェスティバル2013が開催されました。当日は、国際色豊かな催しや、ダンス、遊び・ゲームなどの体験コーナーが設けられ、大人も子供も楽しんでいました。(成田国際文化会館)

主な内容

常任委員会	3	一般質問	8
議案と審議結果一覧	5	コーヒータイトム	12
特別委員会	6	表紙写真を募集します	12

9月
定例会の
あらまし

14議案を可決・同意

小学校設置条例の一部改正や (仮称) さくらの山観光物産館 建設工事請負契約の締結など

平成25年9月定例会は、8月30日に招集され9月19日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、22議案が上程されました。

9月3日には、決算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、9月3日から3日間、13人の議員が登壇して行われ、5日には議案1件を同意しました。6日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

9月17日には、議会改革特別委員会および大学誘致調査特別委員会が新たに設置され、また、医療系大学誘致に関する追加議案1件が上程されました。

最終日には、議案12件と発議案1件を原案どおり可決し、また、請願1件を採択しました。なお、平成24年度決算関係9議案及び医療系大学誘致に関する議案1件は継続審査となり閉会しました。

9月定例会の日程

月 日	内 容
8月30日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
9月 3日(火)	本会議（一般質問）、決算特別委員会
4日(水)	本会議（一般質問）
5日(木)	本会議（一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託）、 決算特別委員会
6日(金)	経済環境常任委員会
9日(月)	建設水道常任委員会
10日(火)	教育民生常任委員会
11日(水)	健康づくり特別委員会、交通対策特別委員会
12日(木)	空港対策特別委員会
13日(金)	総務常任委員会
17日(火)	本会議（追加議案上程、議案質疑・委員会付託）、 議会改革特別委員会、大学誘致調査特別委員会
19日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会）

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

議案4件をいずれも可決しました。
所管事務について8件の報告を受けました。



▼成田市税賦課徴収条例の一部改正

[内 容] 地方税法の改正に伴う所要の改正を行うとともに、国税通則法における行政手続法の適用除外規定の見直しに対応し、本条例においても行政手続条例の適用除外規定の見直しを行うもの。

[主な質疑] **問** 公的年金からの仮特別徴収税額の算定方法の見直しで、対象者への影響は。

答 仮徴収税額を前年度の年税額の2分の1にすることで、翌年度以降乖離が修正され、年間の徴収税額の平準化が図られる。

▼平成25年度成田市一般会計補正予算(第1号)

[内 容] 財政調整基金^{注1}への積み立てや、三里塚第一保育園の建て替えに伴う費用の一部補助、看護師等修学資金貸付金の増額、観光PRパンフレットの作成、成田国際空港で開催する成人式でのミニコンサートの実施などを行うにあたり、歳入歳出それぞれ15億8,213万7千円の増額補正を行うもの。

[主な質疑] **問** 看護師等修学資金の貸し付けで申請者は何人いたのか。

答 平成25年7月末現在、1年生から4年生までの合計で97名からの申請があった。

^{注1} 年度間の財源の不均衡をならすための積立金で、地方財政法で設置が義務づけられている基金。

教育民生 常任委員会

▼成田市国民健康保険税条例の一部改正

[内 容] 地方税法の改正により、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長等の特例において新たに相続人が適用対象になったことや、特定公社債^{注2}の利子が申告分離課税^{注3}として課税されることとなったことなどから所要の改正を行うもの。

議案3件をいずれも可決しました。
所管事務について4件の報告を受けました。

▼成田市立小学校設置条例の一部改正

[内 容] 平成20年3月に学校適正配置案として公表した東小学校の遠山小学校への統合について、関係区長より、統合を受け入れる旨の回答をもらったことから、平成26年4月1日の統合に向け、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 地元住民が、東小学校の遠山小学校への統合を受け入れた理由は。

答 平成24年4月の東小学校への入学生がゼロということに保護者や地元住民が危機感を持ち、地区の総意で統合になった。



▲遠山小学校へ統合されることが決まった東小学校

^{注2} 国債、地方債、外国国債、外国地方債、公募公社債、上場公社債など。

^{注3} 他の所得金額と合計せず、分離して税額を計算し、確定申告によりその税額を納める制度。

経済環境 常任委員会

議案1件を可決し、請願1件を採択しました。

▼(仮称)さくらの山観光物産館建設工事(建築) 請負契約の締結

[内 容] さくらの山を訪れる来訪者に、成田市に関する観光情報を発信するとともに、地域の特産品の紹介や販売を行うため、観光情報コーナーや物販スペースを備えた観光物産館の建設工事について請負契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 開館は平成26年9月とのことだが、運営はどのように考えているのか。

答 この施設が、地元地域の経済活性化と地域振興に寄与できるような形態での管理を考えている。

▼埋立て、盛土等を伴う大規模太陽光発電施設メガソーラー建設に関する 請願書

[主な意見] 請願にある事業計画は、事前協議の段階であり、まだ本申請に至っていない事業に対し、議会が審査するにはなじまないところがあることは十分認識しているが、改良土による埋め立て計画については、周辺水田への影響、土壌汚染、水質汚濁、地下水汚染等が心配され、大竹区民の90%以上が請願にかかわる事実を考えると、無視できない。議会として市民の民意を尊重することは当然のことなので採択が望ましい。

▼市道路線の認定さくみくらようしゃまえん(谷三倉羊舎前線外26路線)

[内 容] 谷三倉羊舎前線及び新堀2号線の2路線を1路線に合わせて路線の統一を図ることから、改めて谷三倉羊舎前線として市道認定するほか、はなのき台東10号線ほか25路線について、市道として良好な管理を行うため、新たに市道認定を行うもの。

▼JR成田駅東口再開発ビルA棟舞台機構設備 工事請負契約の締結

[内 容] JR成田駅東口第二種市街地再開発事業で予定されている再開発ビル2棟のうち、A棟のホール設備の工事について請負契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** ビルの本体工事とホール工事を分離発注しなければならなかった理由は。

答 ホールの詳細、仕様等が定まっていない部分があったことと、ホール工事の特殊性及び工期に影響がない内装工事であることから別途発注とした。

建設水道 常任委員会

議案4件をいずれも可決しました。
所管事務について1件の報告を受けました。



▲工事が進められているJR成田駅東口再開発ビル



国・県に意見書を提出

9月定例会にて、議員から提出された議案(発議案)が可決され、国及び県に意見書が提出されました。
提出された意見書は下記のとおりです。

- メガソーラーの建設について、立地条件の明確化など制度の整備を求める意見書

議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会		リベラル成田		公明党		共産党		清政会		市工								
			神崎勝	伊橋利保	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	神崎利一	村嶋照等	石渡孝春	平良清忠	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	伊藤昌一	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	一山貴志	水上幸彦	大倉重雄	鶴澤治	馬込勝末	福島浩一	佐久間一彦	足立満智子
◆ 議案																															
1	教育委員会委員の任命（福田 理絵）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	成田市税賦課徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
3	地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	成田市立小学校設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
5	成田市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
6	成田市火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	（仮称）さくらの山観光物産館建設工事（建築）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	JR成田駅東口再開発ビルA棟舞台機構設備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×
9	ニュータウン中央線道路築造工事（地盤改良工）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市道路線の廃止（谷三倉羊舎前線外1路線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	市道路線の認定（谷三倉羊舎前線外26路線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成25年度成田市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成25年度成田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 発議案																															
1	メガソーラーの建設について、立地条件の明確化など制度の整備を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 請願																															
3	埋立て、盛土等を伴う大規模太陽光発電施設メガソーラー建設に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議案第12号～20号（平成24年度決算関係議案）及び議案第23号（平成25年度成田市一般会計補正予算（第2号））は継続審査。
 ※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席
 ※ 議長（上田 信博）は採決に加わりません。
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

新たに設置された特別委員会の構成

特別委員会



議会改革 (12人)

〔設置目的〕 議会のさらなる活性化、市民に開かれた議会を目指し、議会の改革及び活性化について、調査検討を行う。

委員長	油田 清			
副委員長	鷺澤 治			
委員	飯島 照明	一山 貴志	神崎 勝	
	福島 浩一	雨宮 真吾	小澤 孝一	
	海保 茂喜	神崎 利一	足立満智子	
	宇都宮高明			

決算 (8人)

〔設置目的〕 平成24年度の決算関係9議案について審査を行う。

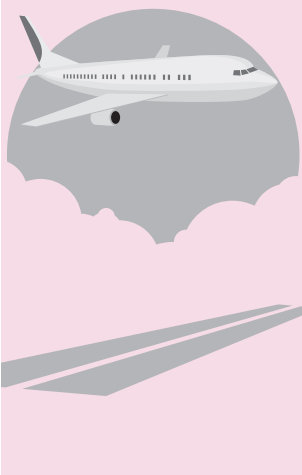
委員長	神崎 利一			
副委員長	湯浅 雅明			
委員	會津 素子	飯島 照明	一山 貴志	
	雨宮 真吾	佐久間一彦	馬込 勝未	

大学誘致調査 (12人)

〔設置目的〕 大学誘致の必要性と費用対効果について調査研究を行う。

委員長	佐久間一彦			
副委員長	水上 幸彦			
委員	會津 素子	伊橋 利保	伊藤 昌一	
	湯浅 雅明	秋山 忍	荒木 博	
	伊藤 竹夫	村嶋 照等	馬込 勝未	
	青野 勝行			

空港対策 特別委員会



●東峰地先における航空機からの落下物

平成25年7月16日に、東峰地先の栗林で、長さ約80センチ、幅約20センチ、重さ約1.8キログラムの落下物が発見され、その後の調査で、キャセイパシフィック航空機の主翼のフラップに固定され、空気抵抗を減らすためのFRP^{注4}製カバーであったことが判明したとのことでした。

また、航空機からの落下物について原因究明と再発防止の申し入れを、国土交通省と成田国際空港株式会社に対して行ったとのことでした。

〔主な質疑〕 **問** 申し入れに対して、国土交通省と成田国際空港株式会社から回答があったのか。

答 地元説明会の中で、原因及び再発防止策についての報告がされている。

●成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会

成田国際空港株式会社では、学識経験者等で構成される第三者評価委員会を、平成25年7月1日に設置したとのことでした。委員会はこれまでに3回開催され、精神的及び身体的影響、不快感や聴取妨害等の感覚的影響、夜間の睡眠影響などを調査対象とする項目や、それらの調査方法など、健康影響調査に関する審議が様々な観点から行われているとのことでした。

●LCCスポット増設計画

成田空港では、2014年度末の完成に向けLCC^{注5}専用ターミナルの施設整備を進めているが、今後の情勢等を考えると、サテライト北側にもスポットを整備することが望ましいため、現在の空港敷地を拡張し、エプロンや誘導路等の施設を整備する計画を策定したとのことでした。

^{注4} プラスチックにガラス繊維などを加えて強度を高めた複合材料。

^{注5} ローコストキャリア(Low Cost Carrier)の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。

交通対策 特別委員会



●成田市公共交通の現状

平成25年度のスクールバスは、久住小学校、美郷台小学校、成田中学校の3校で、基本的には、各学校とも28人乗りのマイクロバスを使用し、2ルートで、朝夕2便ずつの運行を行っているとのことでした。

また、利用人数は、久住小学校が35人、美郷台小学校が46人、成田中学校が48人で、運行時刻については、ルートや季節、学校行事などの状況によって異なるとのことでした。

[主な質疑] **問** 成田市としてのスクールバスの基本的な考え方は。

答 基本的には学校適正配置の考えから、統廃合により通学距離が遠くなり、徒歩等での通学が困難となった児童生徒を対象に運行している。

●成田市における交通事故の現状

千葉県警察本部によると、県内の交通事故件数は、平成24年は、2万2,931件あったとのことでした。そのうち成田市では666件の交通事故があり、うち自転車事故は124件あったとのことでした。

成田市では、交通事故を1件でもなくすため、成田警察署や成田市安全協会などと連携を図り、交通安全運動の周知や啓発活動を実施しているとのことでした。

[主な質疑] **問** 自転車事故には、どのようなケースがあるのか。

答 成田署管内では、自転車対自転車が2件、自転車対人は3件、自転車対自動車は166件、その他として5件あった。

健康づくり 特別委員会



●健康づくりに関する先進地の取り組み

当委員会が平成25年7月に実施した由布市、宗像市、糸島市への行政視察について各委員より報告がありました。

由布市は、平成25年3月に健康立市宣言をし、健康に対する意識の高揚を図るため、健診等を受診するとポイントがたまる健康マイレージ事業を開始し、健康づくりに取り組んでいるとのことでした。

宗像市は、健康むなかた21という健康づくりに関する基本計画を策定し、自分の健康は自分で作り、守るという意識を市民に徹底するとともに、健康づくりは食からと、食育プランを策定し、健康づくりに取り組んでいるとのことでした。

糸島市は、健康寿命を延ばし、生き生き元気な健康市民を増やすという基本目標を掲げた健康増進計画「健康いとしま21」を策定するとともに、平成23年には、健康づくり推進条例を制定したとのことでした。

[主な意見] 健康づくりに、由布市の健康マイレージ事業や、糸島市のメジャーリーグなどの遊び心を持った施策も必要であり、地域の特性を生かした健康づくりも興味深い取り組みであった。健康な体を維持するには、食事、運動、心の3点セットが必要である。

[主な質疑] **問** 健康づくりの推進に関する条例や、口腔内の健康に関する推進条例等の検討はしているか。

答 健康づくり推進条例については、県内各市の状況を注視していく。また、歯と口腔の健康づくり推進条例については、まだ検討段階だが、作成に向けて作業中である。

一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

1. 地域包括ケアシステムの体制整備

青野勝行 議員



問 地域包括ケアシステム^{注6}の導入にあたっては、学区単位の地域で高齢者のケアに努める構想になっているが、住宅密集地での高齢化も進んでいることから、地域の特性や資源を生かした高齢者福祉が求められる。地域包括ケアは、理想としては素晴らしいが、高齢者福祉課だけで全ての準備を進めるのは難しいと考える。そこで、導入に向けて専門のチームを設置するなど、準備を整えて計画的にシステムを導入すべきと思うが、成田市のをどう。

答 現在、成田市では、地域包括ケアシステム構築の一つの方策

^{注6} 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。

として、地域ケア会議を推進し、行政、地域包括支援センター、介護サービス事業者、保健医療関係者、民生委員、住民組織などが集まり多職種連携の利点を生かしながら、地域の課題解決に取り組んでいる。今後のシステム構築については、地域ケア会議での取り組み、成果をもとに課題を整理し、成田市にふさわしい方式の調査・研究を行い、平成26年度策定の第6期成田市介護保険事業計画以降の中で順次進めていく。

その他の質問

- ◆障がい者（児）福祉
- ◆福祉避難所

2. 市長の掲げる政策と今回の大学誘致との整合性

雨宮真吾 議員



▲公津の杜駅に隣接する大学建設予定地

問 平成25年7月29日の市議会全員協議会で、成田市が20億円で土地を購入し、無償で大学に貸与したい、また、大学側が見積もった校舎建設費65億円のうち30億円を拠出したい、つまりは、50億円もの金額を医療系大学の誘致に充てたいとの話を聞いた。余りに突然と感じられる大学誘致に関する報告を受け、市長の掲げる政策である医科系大学誘致と今回の医療系大学誘致との整合性についてどう。

答 看護学部等の誘致は、医学部誘致の第一段階であるとともに、看護師不足を解消し、地域医療に貢

献する機会であると考えている。成田市でも看護師不足は深刻であり、一刻も早くその解消に向け大学を誘致したいという思いがある。また、大学側も目標である医学部設置の第一段階として早く開校したいとの思いがあり、教職員を確保する上でも早い開校が望まれる。今後、少子高齢化が進み、医療スタッフの争奪競争も激化すると思われる。成田市が持続的に発展するには今回の大学誘致は必要不可欠な事業であると考えている。

その他の質問

- ◆誘致対象決定までのプロセス

3. 空き家等の適正管理条例の制定を

大倉富重雄 議員



▲船橋市茶華道センターの茶室

問 放置された空き家の問題は、全国規模で深刻化している。時間の経過とともに屋根や外壁が落下し、家屋倒壊に至ることもあり、また地震や風水害による倒壊、一部損壊などの事故、ごみの不法投棄、景観悪化なども問題になっている。危険な空き家が増えているが、現行法制は追いついていないのが現状である。危機感を感じている自治体は様々な施策を打ち出しているが、成田市では、私が平成24年6月議会で提案した空き家等の適正管理に関する条例制定について、どのように考えているかどう。

答 空き家は、これから迎える超高齢化社会や少子化により、今後も増加していくものと認識している。県内において、現在、条例を制定している8市、及び制定に向けて準備を進めている1市を確認しており、今後は、さらに先進地の取り組みも参考にしながら、条例制定を検討していきたい。

その他の質問

- ◆市有財産の有効活用
- ◆文化芸術の振興
- ◆ブックスタート^{注7}事業

^{注7} 赤ちゃんとその保護者に絵本などを配付し、読み聞かせを通してふれあう機会をつくる活動。



4. 原子力政策をどのように考えるか市長に問う

會津素子 議員



問 >>> 原発事故によって、何よりも子どもたちの健康が脅かされており、また、大量の汚染水が今もなお海に流出している。他の国々に対しても、他のあらゆる生命に対しても、責任のとりようがないのではないか。唯一できることとして、今まで原発を推進してきたことを反省し、直ちに脱原発に向かっていかなければならない。そのためにあらゆる英知を集結しなければならないと思う。市長からもそのような思いを国に伝えていくよう要望するが、見解は。

答 >>> 市長及び市の最大の役割は、市民の生命と財産を守ることです。
注8 欧州連合。

ある。また、原子力は人間の手に負えないものであることも事実であると思っている。今後、国においても原子力発電への依存度の低減に向かって検討していくべきではないかという考えは、国会議員に会った際に伝えていきたい。

その他の質問

- ◆EU注8で使用禁止となるネオニコチノイド系農薬が与える影響
- ◆農業にできる限り頼らない「有機農業」の推進を
- ◆学校給食食材に化学調味料ではなく、天然素材の出汁の使用を

5. 空港所在市の優位性を活用したスポーツツーリズム

佐久間一彦 議員



問 >>> 我が国には、国際的に高い評価を受け、日本独自の文化となった「観る」スポーツと自然環境や四季を利用して楽しむ「する」スポーツがある。スポーツツーリズムは、スポーツを支える人々との交流や、多目的での旅行者に対し、旅行先でも主体的にスポーツに親しめる環境の整備や、MICE注9推進の要となる国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包括した複合的旅行スタイルの創造を目指すもので、成田空港を有する成田市が積極的に取り組むべきものと考えているが、見解を伺う。

答 >>> スポーツツーリズム推進
注9 会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
注10 映画やテレビドラマなどの舞台となったロケ地を活用した観光事業。

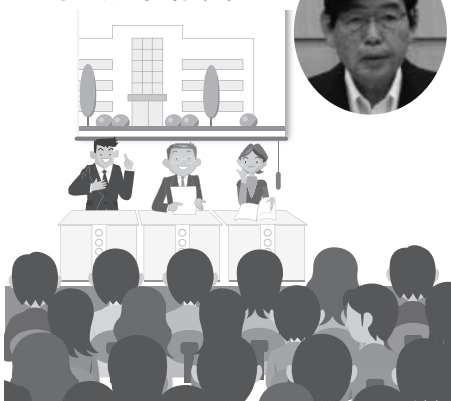
基本方針では、期待される効果として、訪日外国人旅行者数の増加、国内旅行者の長期滞在の促進による宿泊数や観光消費額の拡大などが見込まれており、スポーツツーリズムは観光資源として非常に魅力的なものであると考える。成田空港を中心とする交通ネットワークや宿泊環境を十分に活用し、スポーツツーリズムを成田市の経済や観光活性化の有効な手段の一つとして推進していく。

その他の質問

- ◆ロケツーリズム注10に対する成田市の考え方
- ◆成田市のプロモーション活動

6. 大学誘致に関する市民との意見交換会を

馬込勝未 議員



問 >>> 医学部誘致の前段として今回は看護学部を誘致するとのことだが、医学部新設が認められた場合及び附属病院の建設までを想定した場合、成田市の費用負担はどのくらいか。また、最終判断をする前に、成田市や大学が説明をし、誘致を市民がどのように受け止めるのか、意見を聞く機会を設けることが必要であると思うが、どのように考えるか。

答 >>> 看護学部等の誘致にあたり、土地は成田市が購入して無償で大学に貸与したいと考えており、購入金額は約20億円である。また、校舎は大学側が建設し、その建設費に

対し補助率2分の1、限度額を30億円として補助金を交付したいと考えている。医学部または附属病院に対しての費用負担は、現実的、具体的な話になっていないためまだ決まっていない。なお、大学誘致について今後市民への情報提供に努めていくとともに、パブリックコメントの実施なども検討していく。

その他の質問

- ◆保育所の待機児童解消と特別養護老人ホームの増設
- ◆老人医療費の助成
- ◆新清掃工場のばい煙中水銀濃度



7. 医科系大学誘致

神崎利一 議員



問 >>> 医師不足が深刻さを増す中、救急搬送時における病院のたらい回しを何度も耳にし、ぜひとも成田市にも医科大学誘致をと私も平成22年12月議会で一般質問を行った。小泉市長も、選挙公約として、医科大学誘致の推進を約束していたが、その後、状況が変わったと考える。今回の大学誘致は、25年7月29日の市議会全員協議会で初めて報告を受けたが、成田市としての負担はどのくらいになるのか。また、市民への説明が必要ではないのか。

答 >>> 成田市の負担について、土地は、民間事業者より市が約20億

円で購入し、無償で大学に貸与を、また、校舎は、大学側が建設し、市として校舎建設費65億円に対して補助率2分の1、補助限度額30億円として補助金の交付を考えている。また、誘致について、市民への情報提供に努めるとともに、パブリックコメントの実施なども今後検討していく。

その他の質問

- ◆航空機からの排気ガスの大気汚染
- ◆成田市さくらの山の今後
- ◆(仮称)畑ヶ田多目的スポーツ広場の進捗状況

8. (仮称)男女共同参画センターの整備内容

足立満智子 議員



問 >>> ボンベルタ百貨店アネックス館B棟2階に設置予定の(仮称)男女共同参画センターについては、当面専従職員を置かず同じフロアの(仮称)いきいきプラザ赤坂で対応する、運営に関する協議機関は置かない、女性相談も市役所で行う等の説明があった。将来、活動が広がれば機能の充実を図るとのことだが、スタート時点で腰が引けているように思える。専従職員を置かずどうセンター機能をもたせるのか、成田市の見解を伺う。

答 >>> (仮称)男女共同参画センターの整備内容として、常時開放

のミーティング室、50名規模の会議室、20名規模の活動室、5名から6名規模の多目的室があり、ミーティング室以外の3室を貸し出し、男女共同参画に関する自主的な学習および活動の場として利用してもらうものである。成田市としては気軽に立ち寄ってもらえるような施設づくりをめざし、より多くの市民に活用願いたいと考えている。

その他の質問

- ◆医科系大学誘致の進捗状況及び情報公開、市民への説明責任
- ◆新エネルギーの導入に向けて(仮称)地域エネルギービジョンを

9. ドッグランの整備を

油田 清 議員



▲家族の一員であるペット

問 >>> ペット(犬)は家の中で家族同様に暮らすことが多くなっている。しかし、狭い住宅の中での飼育などによるストレスや運動不足などの問題も生じている。市川市運営のドッグランでは、しつけ教室や愛犬相談も行われており、飼い主の社交場にもなっている。市への登録や狂犬病予防注射を済ませた犬のみが利用できることでその推進にも役立つと思うが、整備を進めてはどうか。

答 >>> 成田市における犬の登録数は約6,500頭で、9世帯に1頭の割合である。ドッグランは、犬を自由に運動させたり遊ばせたりするだ

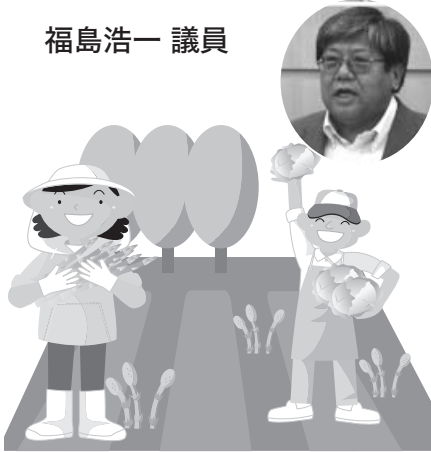
けではなく、人と犬が気持ちよく利用でき、飼い主の方々の交流の場にもなる施設であるとともに、犬を通して市民の交流が活発になり、希薄になりつつある地域コミュニティの形成手段の一つにもなっている。しつけ教室などの開催により飼い主のマナー向上につなげている例もあるなどその果たす役割は大きいと思われるので、引き続き検討していく。

その他の質問

- ◆医科系大学誘致の経緯と説明責任
- ◆マンションの防災力向上のために

10. 早急な新規就農者や営農団体の確保を

福島浩一 議員



問 >>> 農業従事者の高齢化に伴い、離農はしないまでも、出荷せず、自家向けの生産しかしない農家が増えており、JAや市場に実際に出荷している農家は、統計より少なくなっている現状がある。現在の高齢化している農業従事者で成田の農業が守れるのか。早急な新規就農者や営農団体の確保を考えなければならないと思うが、成田市の見解は。

答 >>> 独立・自営就農直後の経営が不安定な時期について、所得の確保を支援することで就農後の定着を促進する国の新規就農者支援事業を活用するほか、平成24年度からは、

就農に関する相談会を随時開催しており、新規就農を志す者に現状と今後の経営の考えを聞き、農業委員会や農業事務所と連携して円滑な就農につながるよう支援を行っている。また、地域の担い手として意欲的に規模拡大を進めている認定農業者などの確保・育成を図っていくとともに、高齢農家や小規模農家が多い地域については、集落による合意形成のもと、関係機関と連携し、集落営農などの組織化を推進していきたい。

その他の質問

- ◆農業振興地域整備計画の見直し
- ◆離農や遊休農地に対する方策は

11. 防災の取り組み

水上幸彦 議員



▲女性や高齢者に配慮した備蓄品

問 >>> 国においては東日本大震災の教訓を踏まえ2つの有識者検討会が設置され、平成25年3月にまとめられた報告書をもとに、6月に災害対策基本法が改正された。この改正で、具体的な災害時要援護者の名簿作成が義務化され、また避難所設置や備蓄品整備まで詳細にわたり努力義務とされたことを受け、成田市における災害時要援護者避難支援制度の取り組みは。また避難所運営訓練の状況と今後の考え方を伺う。

答 >>> 国から示された避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組み指針や千葉県で見直しが予定

されている災害時要援護者避難支援の手引きを参考に、現行の災害時要援護者支援プランの見直しを行っていく。また、現在作成中の避難所開設マニュアルを基本とした避難所開設訓練を久住小学校で実施すべく準備を進めている。今後は避難所運営マニュアルを作成し、この訓練を足がかりに関係機関と連携を図り、避難行動要支援者を含めた避難所運営訓練の実施についても検討していく。

その他の質問

- ◆自治基本条例制定
- ◆医科系大学誘致
- ◆三里塚地域の施設整備

12. 学校教育の情報化

一山貴志 議員



問 >>> 近年、教育の分野でも急速に情報化が進んでいる。文部科学省の調査では、情報機器を活用した授業により、テストの結果が良くなり、児童生徒の知識、理解が高まること明らかにされている。子どもたちの成長、人づくりは、地域や社会の将来を担う根幹であり、教育の情報化はますます重要となっている。そこで、成田市の小中学校に設置されている電子黒板について、その活用状況と教職員からの評価を伺う。

答 >>> 画面上で漢字の書き順をなぞって指導する、インターネット上の写真や映像を提示する、プリン

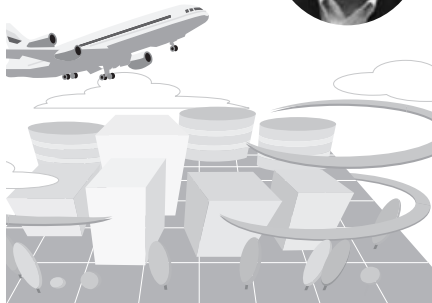
トを映し、注意事項を書き込みながら指導するなど様々な活用をしている。教職員からは、児童生徒に直接操作させることで授業に対する意欲や関心が高まった、画面に書き込むことで視覚や聴覚に訴えられ、指示や説明が明確に伝わるようになったなどの効果が挙げられている。今後は、様々な情報機器の特性を十分に理解し、教育活動の場面に応じて有効活用できるよう指導していきたい。

その他の質問

- ◆市民の健康づくりの推進
- ◆いじめ問題
- ◆児童虐待防止対策

13. 首都圏空港を担う成田へ国家戦略特区構想を

伊藤竹夫 議員



問 羽田空港の沖合滑走路や国際線ターミナルの新設事業に伴って発生した空港跡地を、**国家戦略特区注11**拠点とする構想が政府内に浮上している。アジアの国際ハブ空港を目指す羽田空港に隣接する地の利を活かし、日本経済の底上げをする狙いがある。首都圏空港としての成田と羽田の関係から言えば、このまま羽田の動向を静観しているだけでよいのか疑問であり、羽田の国家戦略特区に対し、首都圏空港の一翼を担う成田がどのような構想を考えているのか伺う。

答 成田市としても、国にお

注11 政府が、地域を区切って大胆に規制緩和や税制優遇を進め、経済の底上げを狙う制度。
注12 廃棄物や下水汚泥の焼却灰等を高温で溶融・冷却し、固化してできるガラス状の物質。

いて開催された国家戦略特区の提案募集にかかる説明会に参加し、情報収集に努めているところであり、国際空港を擁するという優位性を最大限活用するため、国際物流や国際観光、医療などの分野についての国家戦略特区に関する提案をすべく準備をしている。

その他の質問

- ◆ 成田空港活用協議会設置に伴う成田市への波及効果
- ◆ 国際空港都市として、国道や県道の草刈りなど管理の徹底
- ◆ 溶融スラグ注12の有効活用

中学生議会を開催



8月21日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらい、市政への関心を深めてもらうため開かれるものです。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙の開催や市政について中学生の視点で夢や意見・質問が出されました。

12月定例会は、11月29日(金)開会予定です。

議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月28日には、「議会改革の課題と議会基本条例の意義」をテーマに、法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏を迎えて開催しました。



表紙写真を募集します！

市議会だより編集委員会では、年4回(2月、5月、8月、11月)市議会だよりを発行しています。次号(平成26年2月1日発行)の表紙に掲載する写真を募集します。

募集内容

- テーマ：あなたが想う成田らしい写真(風景・イベント・お祭りなど)。
- 規格など：デジタル写真データ(JPEG形式サイズ1MB以上3MB以下)。
- 応募規定：応募者が撮影し被写体の承諾を得たもの。応募は1人1回につき、2点まで。
- 受付期間：作品は原則随時受け付けします。但し、イベントや季節を感じるものについては、発行日の6週間前から締切日(表紙に記載)までの間に撮影された写真を審査の対象とします。
- 紙面への掲載：写真のタイトルおよび写真のキャプション、撮影者名を掲載させていただきます。また、作品はシロ口で掲載されます。
- 応募方法
 - ・ 写真のタイトル(10字程度)
 - ・ 写真のキャプション(写真に添える説明文80字以内)
 - ・ 氏名
 - ・ 電話番号
 - ・ 撮影年月日
 - ・ 住所
 - ・ 撮影場所
- 選考：市議会だより編集委員会で行います。
- 注意事項：応募作品の返却は原則行いません。

応募・問い合わせ先：市議会事務局

〒286-8585 住所：成田市花崎町760 電話：0476-20-1570
メール：gikai@city.narita.chiba.jp

コーヒータイム



9月定例会において、議会改革特別委員会が設置されました。地域のことは地域で決める、地域主権の時代において行政とともに議会の役割が問われています。

市民の代議機関である議会の改革は議員の特殊な問題ではなく、主権者である市民参加のもとで議論を進めていくことが大切です。成田市議会をどう変えていくか、市民の皆さんの積極的なご意見を期待します。

市議会だより編集副委員長 足立 満智子

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

